

プナハウサマースクール 2016



今年も当スクールの生徒 10 名がプナハウサマースクール keiki キャンプ エクステン
ドセッションに参加してきました。今年は天候が不安定で、ビーチキャンプがキャンセル
になったりしましたが、参加した生徒は「楽しかった。また来年もみんなと会いたい」と
いって、帰国してきました。

また、今年問題になったのが、英語が弱い日本人の子供が当スクールの生徒を頼り、す
べて日本語で話しかけてくることでした。同じ日本人の子を助けてあげるのはいいのです
が、せっかく英語力向上のために来たので、今後、在校生だけでいっぱいになってしまっ
ているクラスを英語力がある部外生徒にオープンにしてもらえないかとサマースクール
ヘッドとのミーティングで提案してきました。

来年に参加を検討している方のために、プナハウスクールやケイキキャンプの内容、申
し込み時の注意点、感想などをまとめてみました。

プナハウスクールについて



- ・ 1841 年に創立されたオアフ島にある K（キンダーガーデン＝日本でいうと幼稚園の年長さん）から高等学校（12 年）までの一貫教育校
- ・ オバマ大統領が卒業したことで世界的に有名になった
- ・ 広大な敷地で独自のフットボールフィールド、競泳用のプール、400 メートルトラックや、 テニスコート、ダンス専門の教室、チャーチ、子供たちが探検できる林や自給自足や環境に優しい栽培法を教えるための植栽帯から畑まであり、大学と変わらないような施設を備えている。
- ・ 大学進学率 99%、有名人出身者が多く、ハワイの私立校の頂点にあるといわれる。
- ・ 文武両道の名門校、オリンピック選手も多く輩出（SportIllustrate は 2008 年 2009 年度の全米 NO. 1 学校として評価）

プナホウ サマースクール・ケイキプログラム

～Keiki Kamp: A Summer Fun Day Camp～



- ・ 対象 5 歳～小学 5 年生
 - ※男子 6 月 30 日までに 5 歳になっていること
 - ※女子 9 月 30 日までに 5 歳になっていること
- ・ 毎日外出。オアフ島の子どもアクティビティスポットを網羅
スクールに戻ってからは、ボードゲーム・お絵かき・外遊びなど。
- ・ 現地の子との遊びを通して、自然の英語を身につけていきます。
- ・ 6 月からの session に参加できれば、在校生が多いのですが、どうしても日本人は夏休みになってからの Extended Session に参加することになります。
- ・ Extended Session の Keiki Kamp は約 200 人、そのうち International 生徒は 50 人
- ・ 参加生徒の日本人の割合は 7%弱。
- ・ 今年は益々韓国人が多くなっている印象を受けた。

サマースクール申し込み

・内容発表 1月中旬

・個人でのWEB からの申し込み

今年も1月にスケジュールが発表になり、まずは在校生のみ受付開始となりました。

ネットのみの受付で、外部生は3月からになります。いくつかのクラスはすでに在校生でいっぱいになり、申し込み終了となっていました。

申し込み時点での今年の大きな変更点は、チーフドクターの交代により、ツベルクリン接種ポリシーが変更となりました。

昨年までは、当スクールのように、国内でのツベルクリンでOKをだしてもらっていた学校があったのですが、今年は一本化され、ハワイでの接種しか認められなくなりました。昨年までに参加したことがある方は除外されているので、安心してください。ツベルクリン提出は不要ということです。

申し込み書類の書き方

ネットでの申し込みは、すべて英語で2ページほどあります。名前、住所など特に難しいところはないのですが、いくつか、迷うところがあります。

1. 住所 在校生と共通のフォーマットなので、japan と入れるのですが、必ず州を選ばないと、先に進めません。
2. Local Phone 現地でレンタルする場合は空欄でも大丈夫です。また、自SIMカードなどで自分の携帯を使用する場合、81 から始まる今の携帯番号をかくかと思えます。申し込み時はこれでOKですが、必ずあとで現地の番号を教えてくださいといわれます。
3. Registration form 自体は少ないのですが、プリントアウトすると、Waiver や、Hawai' s State Department of health requirements やTB フォームなど数枚多くなっています。
4. プリントにサインが必要なところはい、マネーチェックと一緒に郵送して申し込みは終了です。
5. 振り込みやカード決済などできませんので、ご注意ください。

交通



地元の子はもちろん車でくるので、子供をドロップオフとピックアップをヘルプしてくれるドライブスルーがあり、レンタカーがあればここを利用でき、便利です。ただし、キンダー生徒は利用できず、必ず保護者が教室までの送迎をすることになっています。

また、バスも利用できます。ワイキキから4番バスで30分ほど。みなさん朝7:11発のバスにのっていました。アラモアナからでしたら5番バスで10分ほどです。しかし時間帯によっては、1時間に1本です。

私はレンタカーを使用しなかったときはuberを多く利用しました。朝は込んでいて、値段があがってしまいますが、夕方のピックアップ時は、とても便利でした。

準備品

水着、帽子、水筒など通常スクールに必要なもの以外に忘れがちなもので、日本からもっていったほうがいいものは、以下の通りです。

- ・お弁当箱
- ・保冷材
- ・お昼寝マット（kと1年生が必須となります）

お弁当は日本のようにファンシーに作る必要はまったくありません。通常のお弁当を持参するだけで、先生たちは日本人ママが作るお弁当に感動していました。アメリカ人が作るサンドイッチと比べると手が込んでいるようにみえるようです。